



フューチャー・アース シンポジウム ー 持続可能な未来社会をめざして ー

開催日時

12月18日(水)
13:00~17:25
[受付] 12:30~

アクセス

アキバプラザ 5階
アキバホール(東京・秋葉原)

**入場
無料**

定員 180名

参加申込

https://form.jst.go.jp/enquetes/fe_symposium2019
12月17日(火) 正午〆切) 定員 約180名

*定員に達し次第締切。

*空席状況により当日参加も可能。

お申込みは
こちら



実施体制

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構
後援：文部科学省、日本学術会議

RISTEX 社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society

フューチャー・アース シンポジウム ー持続可能な未来社会をめざしてー

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）では、国際的な地球環境研究プログラムである「フューチャー・アース」を日本でも推進すべく、平成26年度にフューチャーアース構想の推進事業を立ち上げました。この事業では、「日本が取り組むべき国際的優先テーマの抽出及び研究開発のデザインに関する調査研究」、並びに「課題解決に向けたトランスディシプリナリー研究」の実施を推進しています。これらの研究開発を通じて、分野横断型の研究手法の開発とその成果の普及を行い、環境問題への取組みのみならず、トランスディシプリナリー研究の発展にも貢献して参ります。

プログラム

13:00 開始・挨拶

13:05 本事業のご紹介 安岡 善文（東京大学 名誉教授）

13:15 第1部 「フューチャー・アース構想の推進」 事業 成果発表

矢原 徹一（九州大学 教授）「環境・災害・健康・統治・人間科学の連携による問題解決型研究」

佐藤 哲（愛媛大学 教授）「貧困条件下の自然資源管理のための社会的弱者との協働によるトランスディシプリナリー研究」

西條 辰義（高知工科大学 教授）「持続可能な社会へのトランスフォーメーションを可能にする社会制度の変革と設計」

岡本 正明（京都大学 教授）「インドネシアにおける小規模アブラヤシ農園の持続可能ガバナンスの樹立に向けて」

古川 柳蔵（東京都市大学 教授）・小森 大輔（東北大学 准教授）

「物質好循環型社会に向けた技術と暮らしの価値観の共創の可能性調査」

15:50 第2部 パネルディスカッション（参加者との対話を含む）

モデレーター：杉原 薫（総合地球環境学研究所 特任教授）

パネリスト：矢原 徹一（九州大学 教授）

佐藤 哲（愛媛大学 教授）

谷口 真人（総合地球環境学研究所 副所長・教授）

川北 秀人（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表）

長谷川 雅世（NPO法人国際環境経済研究所 主席研究員）

春日 文子（フューチャー・アース国際本部日本ハブ事務局 事務局長）

テーマ：SDGs達成に向けた協働 – TD研究の可能性 –

分野横断型の研究で得られた成果や課題などについて総括的に議論し、我々がどこまで来たか、そして今後どこへ向かうのか考えます。また、JSTのSDGsプログラムの紹介を交えて、Future Earth関連の活動をどのようにSDGsへ繋げるのか、また発展させていくのか会場を巻き込んで検討します。



17:25 閉会の挨拶・終了

開催日時

12月18日(水) 13:00~17:25
[受付] 12:30~
アキバプラザ5階アキバホール

アクセス

アキバプラザ5階アキバホール（東京都千代田区神田練堀町3）

- ▶ JR線 秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- ▶ つくばエクスプレス線 秋葉原駅 A3出口より徒歩1分
- ▶ 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 2番出口より徒歩3分

事前登録について

下記QRコード、もしくはウェブサイトからお申し込みください。

12月17日(火) 正午〆切) 定員 約180名



◀ お申し込み、詳細はこちら

https://form.jst.go.jp/enquetes/fe_symposium2019

*定員に達し次第締め切り（空席状況によって当日参加も可能）

